

「まず神の国と神の義を」

マタイによる福音書 6章

6:25 「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。

命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。

6:26 空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。

6:27 あなたがたのうちだれが、思ひ悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。

6:28 なぜ、衣服のことで思ひ悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。

6:29 しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

6:30 今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。

6:31 だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思ひ悩むな。

6:32 それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。

6:33 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

6:34 だから、明日のことまで思ひ悩むな。

明日のことは明日自らが思ひ悩む。

その日の苦勞は、その日だけで十分である。」

+++++

コロナ感染に関する緊急事態宣言が発出されました。

各人が緊張感をもって感染拡大を防ぐための意識を再度確認し自らの行動を戒め、健康管理を心がけなければなりません。

それは互いの命を守るためにも必要な意識です。しかし、そういう状況の中に置かれると、私たちは息苦しさを感ず、生きにくささを感じるがあります。

そして不安や恐れに押し流されそうになることがあります。

今日の聖句は、そういう私たちに向けられたものとして読める大事な箇所です。

1) 思ひ悩むな

イエス様は空の鳥、野の花を例にあげて神様はそれらのものを生かし守り、着飾らせてくださっているのだから、あなたがたは思ひ煩うことなく生きなさいと勧めておられます。

いのちを大切に今日を丁寧に生きるといふ姿勢が教えられています。

思ひ煩いは私たちの特技かもしれませんが、それが私たちにもたらす祝福はありません。むしろ、生きることへの絶望感や恐れを増幅させるだけです。

2) なぜ思ひ悩まなくても大丈夫なのか

それは

6:32 それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。

とあるように、神様が私たちの必要物や心の状況をご存知であり必ずケアして下さるお方だから思ひ煩わなくて大丈夫なのだといふのです。

これは、ある程度頭ではわかっているのですが、現実的にはなんとなく、「大丈夫かな」と不安を感じるがあると思います。

そこでイエス様は、具体的に前向きな生き方を示してくださいました。

### 3) 何よりもまず神の国と神の義を求めなさい

「何よりもまず」という前置きは「最大限重要な要素」であることの証拠です。

「まず第一に」という意味があるからです。そして内容的には「神の国」「神の義」を求めるといことが語られています。

「神の国」を求めるといのは「神の支配」を求め、神が支配しすべてを統治して下さっていることを深く知ることができますよとい願いをもって生きることが出発点です。

そして、さらに「神の国」とは「神の支配と介入による解放・喜び・平安」を求めながら生きるといことでもあります。

自分の頑張りではなく、神様が介入して下さってもたらして下さる「解放・喜び・平安」を今日、味わえますよとい願いをもって生きるので。

さらに「神の義を求めるとは「神の正義が実現するように」「神の喜ぶことを喜び、神の悲しむことを悲しみながら生きられますよとい願いをもって生きることです。聖書を学んだり考えたりするのはこういことのためでもあります。さらにいえば、神の義を求めるといのは「神の救いを求めるといことでもあります。

自分の中にある罪、汚れを清めていただく、あるいは赦していただくとい願いつつ生きるので。

主の祈りの中の言葉はこれらの生き方を表明しているものです。

### 4) 今日を丁寧に生きる

イエス様は、明日のことを思い煩わないように、そしてその日の苦勞はあるので、その苦勞を担いつつしっかり今日を生きようとい励ましておられます。悩みや不安は今日、あるのです。でも、その今日を「神の支配を信頼し、神による解放、喜び、平安」を求めつつ生きること、神の救いを求めつつ生きることによって乗り越えていくことの大切さを教えているのです。

不安や恐れは現実的に私たちの周りに存在します。でも、私たちの生き方もまた、教えられています。その教えを心に留めつつ丁寧に生きていきましょう。

+++++

映像はこちらです。

<https://youtu.be/igDHFaNFFh8>